



海外にまだ行ったことない人、春夏休暇を利用して短期留学をしたい方へ



1

体験留学・短期語学留学制度（夏期又は春期休暇中の1～4週間を利用した留学プログラム）

夏期・春期休暇を利用した1～3週間の短期留学プログラム



本格的に語学を勉強したい方へ

2

長期語学留学制度（前期または後期の約半年を利用した語学留学プログラム）

約半年間（1学期）にわたり海外に滞在し、英語、韓国語などを学ぶ長期留学プログラム



専門科目を学びたい方へ

3

長期交換留学制度（姉妹校・協定校に学期単位で渡航する交換留学プログラム）

協定校などに学期単位で留学し、専門科目を学ぶ長期交換留学プログラム



CHECK!



多様性あふれるサマープログラム（オンライン）に参加して.. 【経済学部経済学科2年生 外和田かな】

私は夏季休暇中4日間、シンガポールの南洋ポリテックのサマープログラムに参加しました。4日間はzoomを使い、現地の学生と交流や学習をしました。最初は「どうせオンラインだし、、」くらいの気持ちでしたが、4日間はとても充実して最終日はこのまま終わってしまうのか…と、とても寂しかったです。シンガポールの学生の多くがnationalityとethnicityが違い、そのbackgroundを知る事が楽しかったです。また、その環境の中一緒に学習したので現地学生と私達日本の学生との間に壁を感じることが少なかったと感じました。ガツツリ欧米圏にいくよりも英語が緊張せずに話せました。オンライン留学も楽しかったのでまた機会があれば参加したいと思いますが、次回は実際に現地に行き海外留学してみたいと強く思いました。



東アジアへの留学という選択肢 【経済学部経営学科卒 森本蓮】

2019年8月から12月までの間、「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」第10期生としてインドネシアのジョグジャカルタにあるガジャ・マダ大学での語学留学と現地日本語学校でのアシstantボランティアを行い、その後2020年の1月から3月までの2か月間、ジャカルタの日系企業でインターンシップを行います。毎日が新鮮で、語学だけでなく、文化や宗教観についても学ぶことができます。これからグローバル化が進む社会の中では、もちろん言語は必要ですが、異なる宗教観、価値観を知り、互いを尊重することも大切で、それらはコミュニケーションをとる上での土台となります。信頼関係を築くには言語が全てではなく、互いの異なるバックグラウンドを正しく理解し尊重する力が必要です。この力を養うことができるがインドネシア留学の魅力だと感じています。インドネシアは実際に多様な国で、様々な民族、宗教観を持った人が共生しています。他者に寛容なインドネシアの人々から学べることは計り知れません。



私は中学、高校とずっと英語を避けて生きてきて、大学に入ってから初めて外国人の友人ができ英語の必要性に気づきました。英語が話せるに越したことはありませんが、英語を話せない私でも留学することができます。留学することは決してすごいことではなく、アクションを起こせば以外と身近なものです。本学の教職員の方は真摯に相談にのってくれます。まずは自分の気持ちに正直になり、なぜ留学に行きたいのかを考え、第一歩を踏み出し相談してみると良いと思います。

4 留学生の受け入れについて

本学では、海外派遣プログラムの他に留学生を積極的に受け入れることにも力を注いでいます。新型コロナウイルス蔓延前までは、多くの国から、毎年約 50 名の交換留学生が学びに来ましたが、現在は学生の健康を考慮し、プログラムを開講していません。現在、9 の国・地域から来た 80 名の学生が在籍しています。正規留学生に加え、協定校等からの交換留学生も含め、今後も年間 100 名前後の外国人留学生受け入れを目標として事業を展開して行く予定です。

【2023 年度 4 月 1 日時点 留学生数】

※ () 内は女子内数

国名	学部・大学院正規生	交換留学生	合計
中華人民共和国	28(14)		28(14)
韓国	2	6(4)	8(4)
ベトナム	24(17)	2(2)	26(19)
マレーシア	1(1)		1(1)
ポーランド		3(2)	3(2)
フランス		6	6
ドイツ		2	2
台湾	1(1)	3(1)	4(2)
バングラデシュ	2		2
合計	58(33)	22(9)	80(42)

* ここに記載する人数は、留学ビザ以外の滞在許可等で在籍する外国人留学生を含む。

2023 年度より、国際交流館「和み館」（交換留学生寮）で留学生と共に生活、そして交流し、それを通じて日々の生活をサポートするレジせんとアシスタント制度（RA）を再開し、2 名の日本人学生が RA 生として和み館に居住します。

5 海外協定校について

NIBES (Network of International Business and Economic Schools)

世界21カ国 22大学で構成される国際ビジネス・経済関係の教育機関ネットワーク

アメリカ・ユタ州立大学とフランス・トゥール高等商科大学を中心となり 1996 年に世界 14 カ国、16 大学のビジネススクール・経済学部門のグローバルネットワークを結び、学生や教員の交流、国際分野における教育の共同研究、共同カリキュラムの開発を推進していくことが提唱されました。本学は日本で唯一のネットワーク参加校です。本学では、まず手始めとして 1997 年から姉妹校の他にこのネットワーク校を対象に交換留学生短期受入プログラムを開設し、これまでに 550 名以上の交換留学生を受け入れています。彼らの受入れは、日本人学生の異文化交流や国際理解に繋がっており、本学に於けるグローバル社会で活躍できる人材育成に大きく寄与しています。

NIBES ネットワーク校

プリガムヤング大学（アメリカ）
モンテレー工科大学（メキシコ）
I E S A（ベネズエラ）
F G V E B A P E（ブラジル）
E S A N 大学（ペルー）
フォルツハイム芸術工科大学（ドイツ）
クレルモン高等商科大学（フランス）
I S C T E リスボン（ポルトガル）
ササン・デンマーク大学（デンマーク）
クラクフ経済大学（ポーランド）
リュブリアナ大学（スロベニア）
コーカサス大学（グルジア）
ビルケント大学（トルコ）
アバディーンビジネススクール（イギリス）
J A I N（インド）
ガジャ・マダ大学（インドネシア）
元智大学（台湾）
IQS（スペイン）
エレブルー大学（スウェーデン）
ICHEC高等商科大学（ベルギー）
広島経済大学（日本）

その他の協定校及び交流校

ユタ州立大学（アメリカ）
ハワイ大学マウイカレッジ（アメリカ）
ハワイ大学ハワイコミュニティカレッジ（アメリカ）
ラ・ロシェル高等商科大学（フランス）
アンジェ高等商業科学大学（フランス）
S K E M A ビジネススクール（フランス）
ブレシア大学（イタリア）
ローマ大学フォロ・イタリコ（イタリア）
大同大学（台湾）
東吳大学（台湾）
大邱大学校（韓国）
嶺南大学学校（韓国）
南洋ポリテクニック（シンガポール）
パニヤッサストラ大学（カンボジア）
ガジャ・マダ大学（インドネシア）
クリスナドウイパヤナ大学（インドネシア）
ハノイ貿易大学（ベトナム）
カセサート大学（タイ）
オークランド大学 E L A（ニュージーランド）
オークランド工科大学 I H（ニュージーランド）

（いずれも、2023年4月1日現在）